政策コメンテーター報告（第3回、意見照会期間：2014年10月24日～11月５日） 鶴田　欣也：鶴田石材株式会社代表取締役社長

| 質問事項 | | 記述式回答 |
|---|---|---|
| 来年秋を見据えて、現在の景気の基調 | | |
| 1 | ９月16日の経済財政諮問会議において、2015年秋を見据えて、現在の景気の基調を見る際、以下の5項目について今後注視すべきとされました。これらを参考に、現在の景気の基調や考慮すべきリスクをどうご覧になっているか、また、とるべき対応があれば、合わせて300字以内でご記入ください。<br>①　消費の安定的増加、それを支える雇用者数・賃金の伸び（正規比率の上昇を含め）や消費マインド<br>②　企業収益の動向、民間設備投資の強さ（設備投資計画の動向も含む）<br>③　輸出入の動向、交易条件の動向<br>④　物価動向（一時的要因を除いた実勢と期待物価）<br>⑤　マーケット（株価、為替、金利等）の動向 | 全国中央会が実施した「中小企業月次景況調査（平成２６年９月末現在）」の各指数を見ると、全体としてはほぼ横這いである。消費増税の反動による内需不振が長引いているが、他方、今後一段と悪化していくような状態にはない。来年秋を見据えた場合、大きな外部的要因がなければ、中小企業への波及効果も期待でき、底堅い基調が続くと期待を持っている。中小企業が「ようやくデフレ脱却が実現できる」という前向きなマインドを維持できるよう、労働生産性向上に資する、金融・税制・財政の三位一体的な経済対策、特に老朽化した共同施設等の設備改善が進むような対策を講じる必要があると考える。 |
| 地方創生・地域活性化 | | |
| 2 | 地方創生・地域活性化に向けて、重点的に取り組むべき課題及び対応策につき、ご自身（自社）の知見・経験も踏まえてお考えを300字以内でご記入下さい。その際、地方が抱える課題の背景についても、併せてご記入下さい。 | 働く場を確保するため中小企業（個人事業者含む）の経営継承と集約化が重要である、経営者の理念・技術・人的ネットワークの継承、地場産業を支える組合における若手登用、複数の個人が集まる協働創業（企業組合等連携組織制度の活用）、地域コミュニティの維持のための施設のコンパクト化、異業種間を連携させたカタチでの観光振興等が必要である。地方の市町村は、重要な行政の現場ではあるが、将来ビジョンを戦略化する政策企画力を一段と向上させ、地域から地域活性政策を発信する力を強化して頂きたい。地方は、海外を含め外部からのものを受け入れるための環境（精神面含め）が未整備である。 |
| その他 | | |
| 3 | 10月下旬の為替相場は107円台付近で推移しています。最近の為替相場の動向やその景気への影響について、ご見解があれば300字以内でご記入ください。 | 中小企業に景気回復の実感がないのは、原材料費やエネルギーコストの高騰とそのコスト増加が転嫁できていないことにある。輸出も期待ほど増加しておらず、受注企業への効果も限定的である。中小企業に大きなしわ寄せが来て、資金繰りの悪化が危惧される。食品関係業界等は、今年の小麦粉や大豆等の原材料価格は決まっているが、来春等に、一段の円安を反映した価格改訂が行われ、中小企業のコスト構造は更に悪化していく。これ以上の円安は、中小企業にとってデメリットが顕著となる。コストアップ構造の改善に向けた、下請代金の見直し、転嫁円滑化、電気料金等の安価・安定化等が不可欠と言える。 |